

メールソフトの設定

2020.6

こちらの資料では、メールアドレス（～@cvk.ne.jp）をメールソフトに登録する為の設定について説明していきます。設定に際しては、ご契約時にお渡しした「ユーザー情報」が必要となりますので、お手元へご準備ください。

また、こちらは特定のメールソフト（Outlook、Gmailなど）の使用を想定した説明ではありません。ご利用頂くソフトによっては名称や設定項目の有無が異なりますので、予めご了承ください。

■アカウントの登録・基本設定

メールソフト・アプリにメールアカウントを登録する際に入力する各項目と内容について。

■ 名前

任意の名前を入力してください。

メールの送信先で表示されたり、メールソフト内での略名で使用されます。

■ メールアドレス

ご契約頂いたメールアドレスを入力してください。

例) kyosai@cvk.ne.jp

■ パスワード

「ユーザー情報」に記載された英数字を入力してください。

■ 受信サーバー、送信サーバー

いずれも【 mail.cvk.ne.jp 】と入力してください。

■ 送信ポート番号

【 587 】と入力してください。

サポート対象：「SMTP」

■ 接続方法

メールの接続方法には「POP」と「IMAP」の2種類があります。
ご利用環境に合わせて、どちらか一方を選択・設定してください。
なお、接続方法は次項で説明する「受信ポート番号」と連動しており、メールソフトによっては接続方法自体の選択が無く、「受信ポート番号」を入力することで接続方法が自動選択される仕組みのものがあります。

POP 接続

サーバーにあるメッセージをパソコンやスマホなどの端末に直接ダウンロード（保存）し、閲覧する仕組みです。メールを端末上で管理したい場合におすすめです。

特徴

- 端末の容量が許す限りメッセージの保存が可能です。
- 複数台の端末で利用する場合、未読／既読、送信歴が端末ごとに管理されます。
例) パソコン①でメッセージを既読・返信した時、パソコン②では、メッセージは未読のまま、送信歴も残らない。
- 個人が2台以上の端末でメールを利用する場合、使い勝手が悪くなります。

IMAP 接続

サーバー上でメッセージを一元管理します。個人メールとして、パソコンやスマホ、タブレットなど複数の端末を利用される場合におすすめです。

特徴

- 保存できるメッセージの容量は100Mまで。（弊社プラン）
同じメールを複数台の端末で利用しても、状態が共有されます。
例) パソコン①でメッセージを既読・返信した時、パソコン②でも、メッセージが既読、送信歴が残る。

-ご注意-

複数台の端末でメールをご利用になる場合は、必ず接続方法を統一してください。端末ごとに設定を変えてしまうと、メッセージが正しく送受信されなくなる可能性があります。また、その症状を改善する為の上書き設定をした場合、保存されていないメッセージ等が失われる可能性もあります。
(POP/IMAP共通)

■ 受信ポート番号

接続方法に応じたポート番号を入力してください。

POP接続

【 995 】 または 【 110 】 と入力してください。

サポート対象：「POP3 over SSL/TLS」、 「POP3」

IMAP接続

【 993 】 または 【 143 】 と入力してください。

サポート対象：「IMAP over SSL/TLS」 「IMAP」

-ご注意-

複数台の端末でメールをご利用になる場合は**受信ポート番号を統一**してください。端末ごとに設定を変えてしまうと、メッセージが正しく送受信されなくなる可能性があります。また、その症状を改善する為の上書き設定をした場合、**保存されていないメッセージ等が失われる可能性**もあります。

(POP/IMAP共通)

■ 接続の保護

受信サーバー

「このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要」または「SSL/TLS」に設定する。

送信サーバー

「STARTTLS」または「自動」に設定する。

■ サーバー設定

メッセージに対するサーバーの処理設定。

■ 新着メッセージの確認

任意のサイクル時間を設定してください。

設定した時間毎にメールソフトが新着メッセージの有無を確認します。

■ ダウンロード後のメッセージ処理

ダウンロード（受信）した後、メッセージをサーバーに残すか・残さないかを設定します。

1) サーバーに残す（保存期間を設ける）

受信した後もメッセージはサーバーへ残ります。複数台の端末（PC、スマホなど）でメールを利用している場合はこちらを選んでください。

また、サーバーに残す期間は"**一週間～二週間**"を推奨します。

保存期間を過ぎたメッセージはサーバーから自動的に削除されますが、端末に保存されたメッセージは残ります。

補足：サーバー容量（100M）を超えた場合、メッセージの送受信が行えなくなる可能性がありますので、保存期間は必ず設定してください。また、複数台の端末でメールを利用する場合は、保存期間を統一または同程度に設定してください。

2) サーバーに残さない（非推奨）

受信した後、メッセージはサーバーから削除されます。サーバー容量を圧迫する心配がありませんが、複数台の端末でメールを利用している場合、いずれかの一台が受信すると他の端末では受信することができません。

3) 設定項目がない場合

接続方法がIMAPの場合や利用するメールソフトによっては、こちらの設定項目が無い場合があります。その場合、メッセージは下記のいずれかの状態で処理されると考えられます。

他の端末で別のメールソフトも利用している場合

他の端末のメールソフトでこちらの項目の設定をしている場合、そちらの設定が優先的に反映されると考えられます。

他の端末・別メールソフトを利用していない場合

受信・送信フォルダにあるメッセージがサーバーと同期している状態と考えられます（特にIMAP接続の場合）。サーバー容量（100M）に注意しながら、不要なメッセージ（特に添付ファイルのあるものなど）は定期的に整理・削除するようにしてください。

■ メッセージの削除方法（サーバー容量の確保）

サーバーに保存されたメッセージが上限（100M）に近づくと、その旨を警告するメッセージがユーザー宛てに送信されます。

その場合は下記のいずれかの方法でメッセージを削除し、サーバー容量の空きを確保してください。

1) サーバーに残す日数を設定をしている場合

メールソフトのアカウント・サーバー設定の中に入り、サーバーに残すを設定（日数も含む）を一旦解除し、メールの送受信を行ってください。

その後、サーバー設定に戻り、解除した設定を元の状態に戻してから、再度メール送受信を行ってください。

これでサーバーに残っているメッセージがすべて削除されます。

補足：複数台の端末でメールを利用している場合、上記の作業は**警告メールが届いた端末のメールソフト上にて行ってください**。それ以外の端末で行った場合、サーバーにあるメッセージが正しく削除されない可能性があります。なお、警告メールが届く端末はサーバー側では親機として認識されており、最初にメールアカウント登録を行った端末となります。

注意：複数台の端末でメールを利用している場合、上記作業を行う前に**すべて端末にてメール送受信を行い、受信されていないメッセージが無いかご確認ください**。受信されていないメッセージも一緒に削除されてしまいます。

2) 日数を設定をしていない場合

送受信フォルダにあるメッセージがサーバーと同期している状態です。フォルダ内にある不要なメッセージを削除してください。ただし、メールソフトによっては、削除したメッセージがゴミ箱に移動するだけで完全に削除されない可能性がありますので、その場合はゴミ箱を空にするか、サーバー設定を変更してください。

補足：複数台の端末でメールを利用している場合、上記の作業は**警告メールが届いた端末のメールソフト上にて行ってください**。それ以外の端末で行った場合、サーバーにあるメッセージが正しく削除されない可能性があります。なお、警告メールが届く端末はサーバー側では親機として認識されており、最初にメールアカウント登録を行った端末となります。すべての端末に警告メールが届いた場合はこの限りではありません。

注意：複数台の端末でメールを利用している場合、上記作業を行う前に**すべて端末にてメール送受信を行い、受信されていないメッセージが無いかご確認ください**。受信されていないメッセージも一緒に削除されてしまいます。

-ご注意-

ご利用になられるメールソフトやパソコン等のバージョンによって、上記の設定が正しく行えない場合があります。その場合は、メールソフト提供元のサポートページ、またはサポートデスク等にお問い合わせください。
また、弊社ではインターネットのお困り事を解決する「あんしんサポート」もご用意しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

峡西CATV

TEL : 055-283-8383 MIAL : info@cvk.ne.jp